

JFE システムズ 株式会社

2020年上期 決算説明会

2020年10月28日

目次

01

2020年上期 決算概要

P3

02

2020年度 業績見通し

P6

03

トピックス

P13

01

2020年上期決算概要

2020年上期業績（連結：前期比）

- ◆ コロナウイルス感染拡大の影響を、受注残の消化、コスト削減でカバーし、上期は収益微減に留まる
- ◆ コロナ禍での案件構成変化(*)の影響で、利益率は悪化傾向

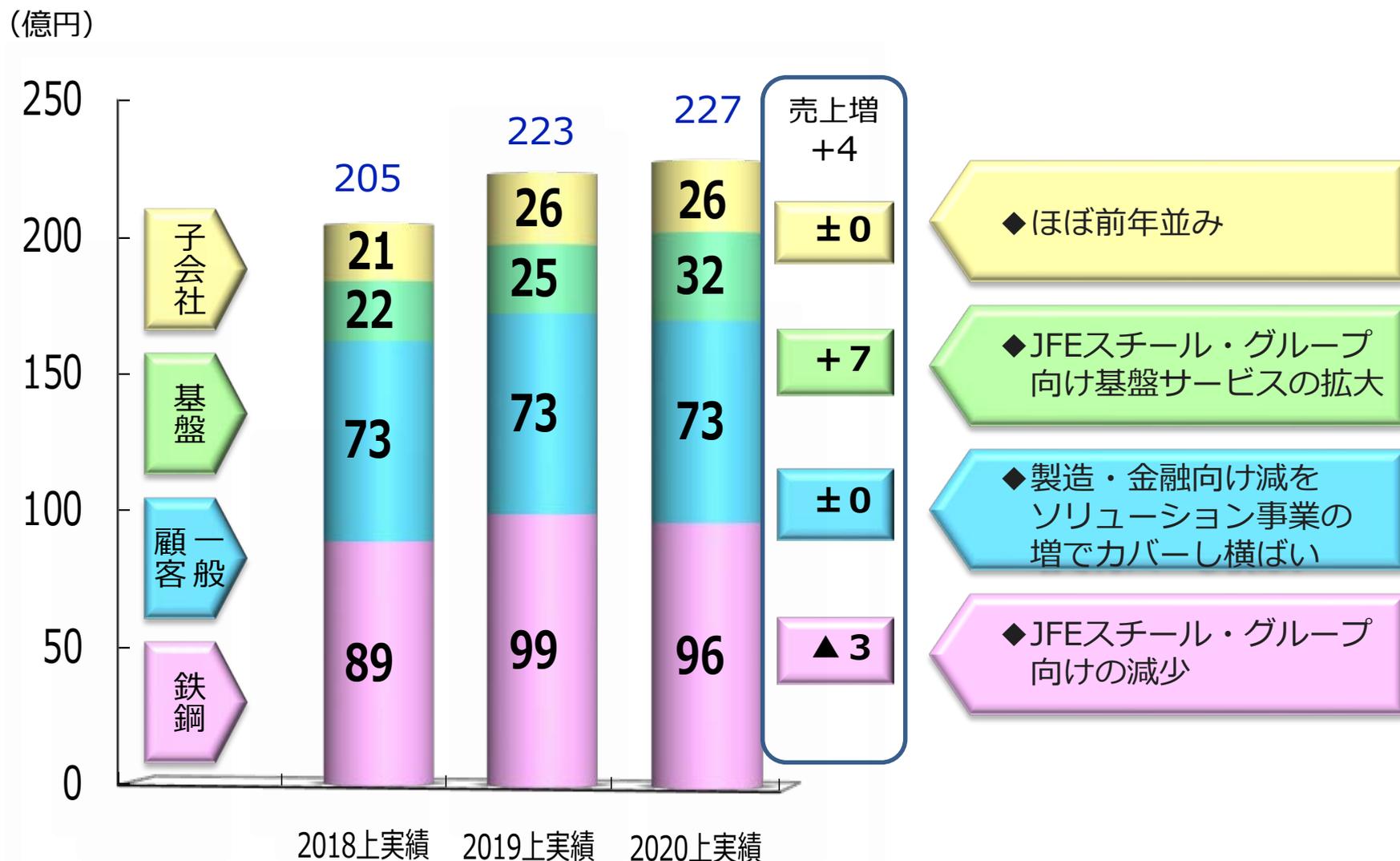
*大規模案件 = 減、小規模案件 = 増 →生産性低下

単位：百万円

	2019年度 上期実績	2020年度 上期実績	増減	
			金額	率
売上高	22,279	22,742	+ 462	+2.1%
営業利益	2,039	1,944	▲ 95	▲ 4.6%
経常利益	2,028	1,967	▲ 61	▲ 3.0%
(経常利益率)	9.1%	8.7%	▲ 0.5ポイント	
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,311	1,255	▲ 55	▲ 4.2%

2020年上期事業別売上高（連結）

◆ 鉄鋼事業の売上高は微減も、基盤事業での売上伸長が寄与し増収



02

2020年度業績見通し

2020年度業績見通し（連結：前期比）

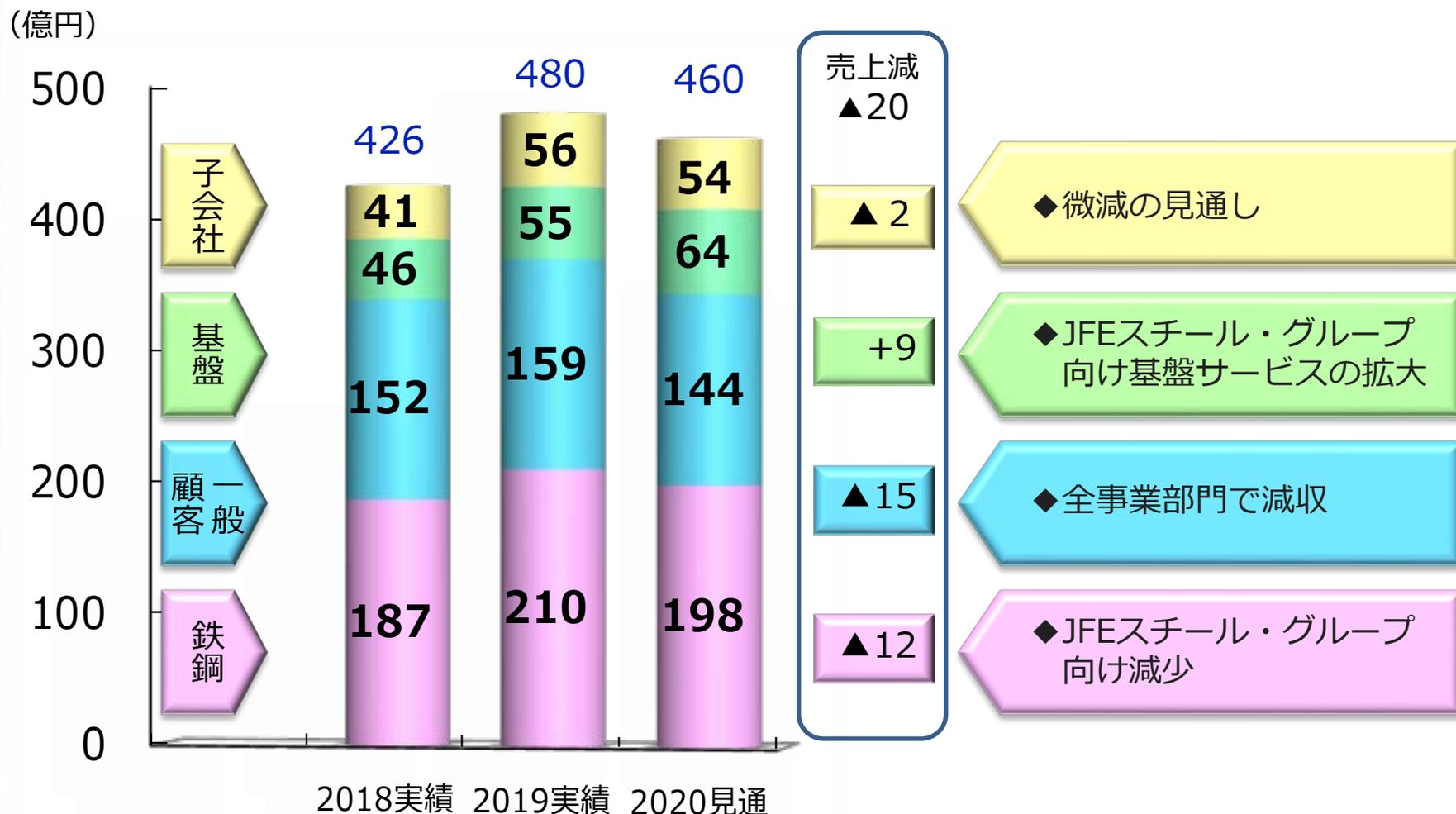
- ◆ 下期での鉄鋼・一般顧客向けの売上減が影響し減収
- ◆ 減収に加え、案件構成悪化影響もあり減益代が拡大

単位：百万円

	2019年度 実績	2020年度 見通し	増減	
			金額	率
売上高	47,953	46,000	▲1,953	▲4.1%
営業利益	4,803	3,770	▲1,033	▲21.5%
経常利益	4,803	3,800	▲1,003	▲20.9%
(経常利益率)	10.0%	8.3%	▲1.7ポイント	
親会社株主に帰属 する当期純利益	3,181	2,400	▲781	▲24.6%

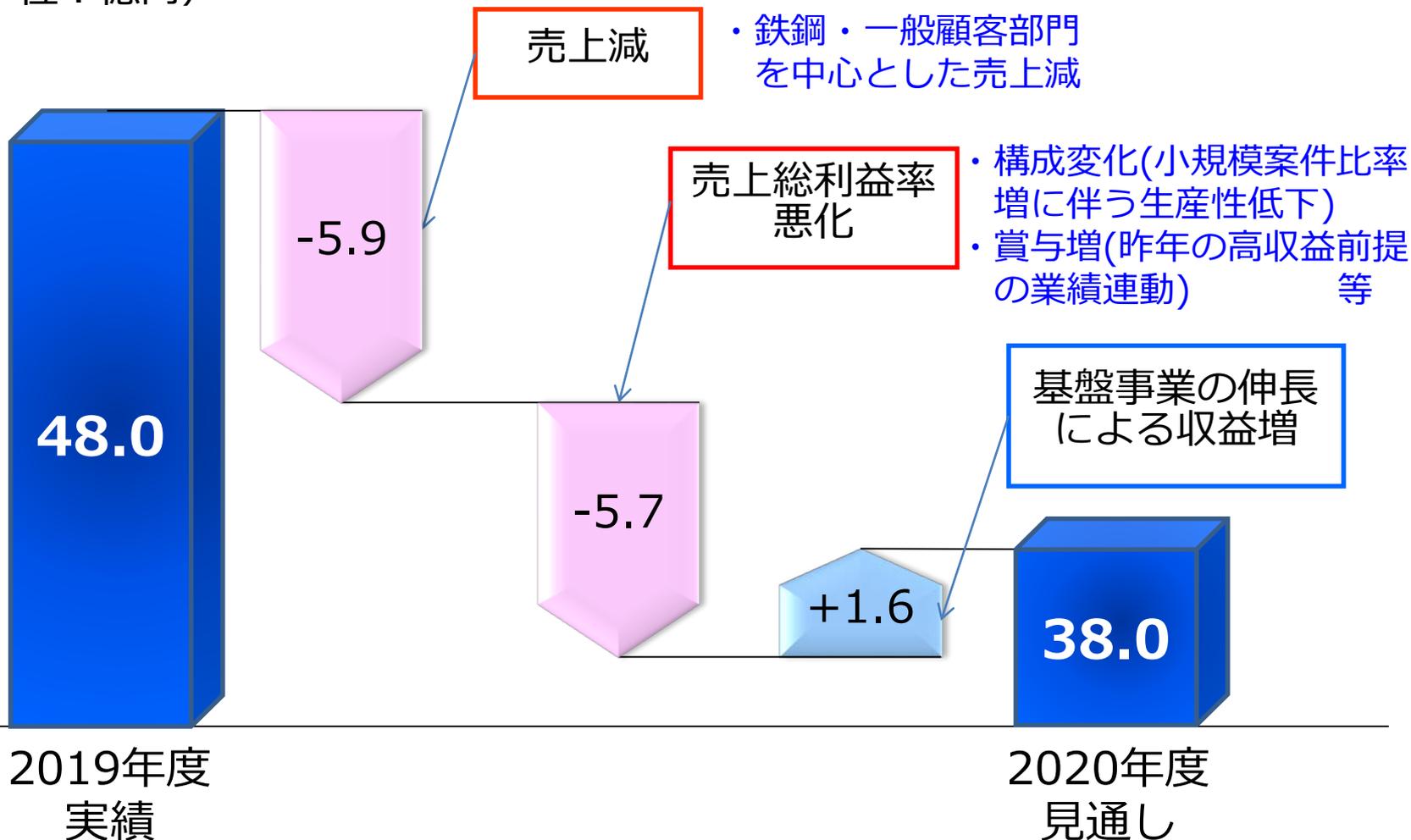
2020年度事業別売上高見通し（連結）

◆ コロナ影響等により、基盤事業を除くすべての事業で減収見通し



2020年度経常利益見通し増減の要因（連結）

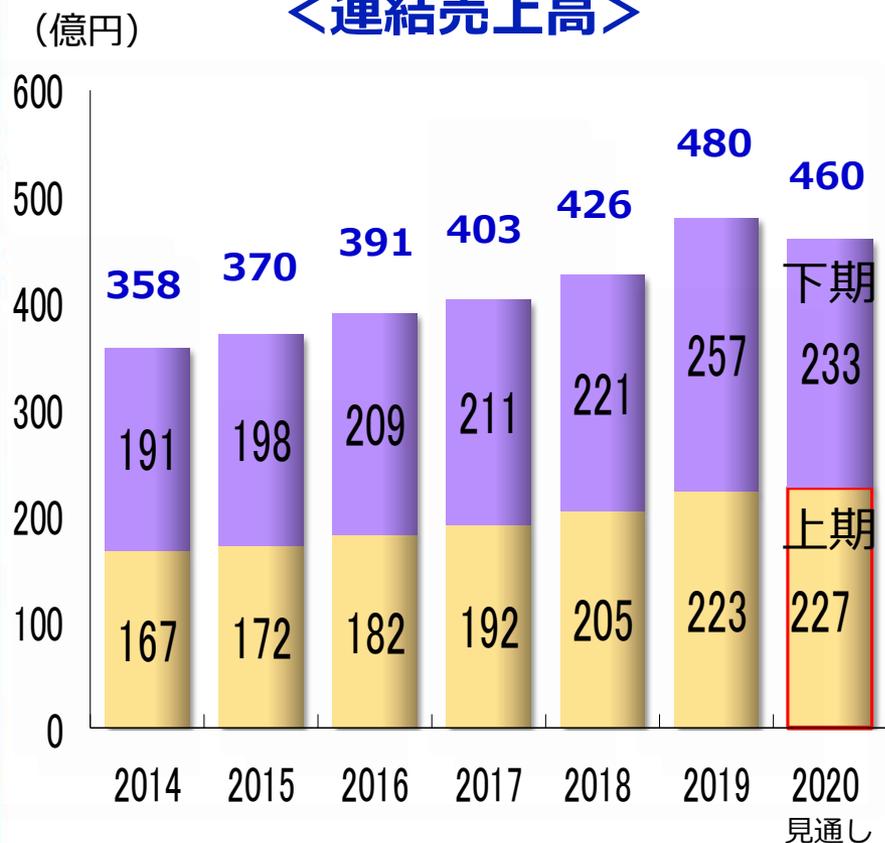
(単位：億円)



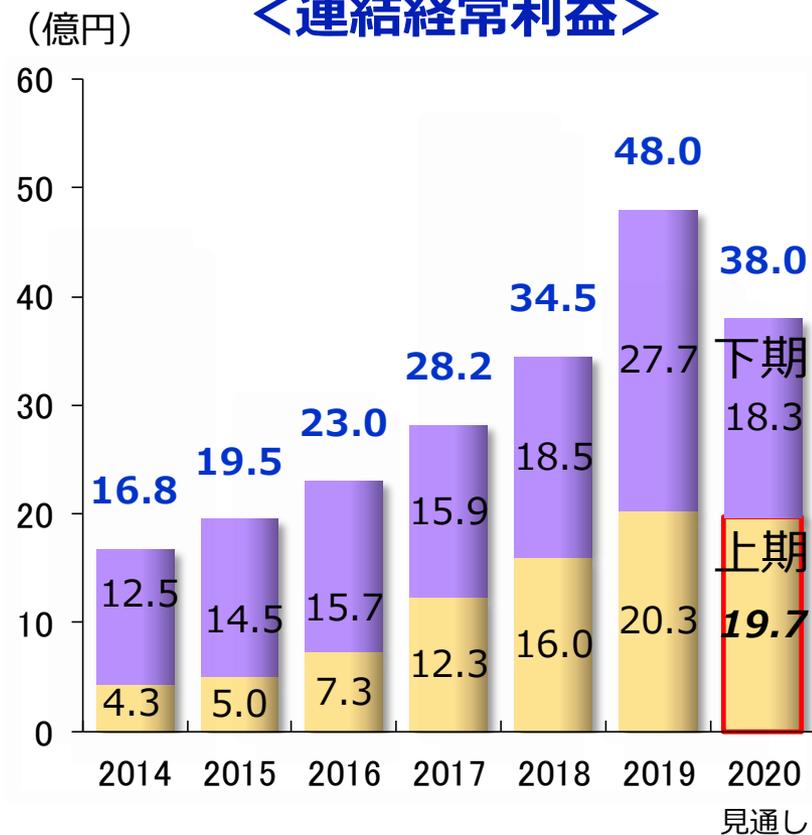
<参考> 業績推移 (上・下期別 2014-20)

◆ コロナ影響等により、2020年度下期は、異例の上期比減益見通し

<連結売上高>

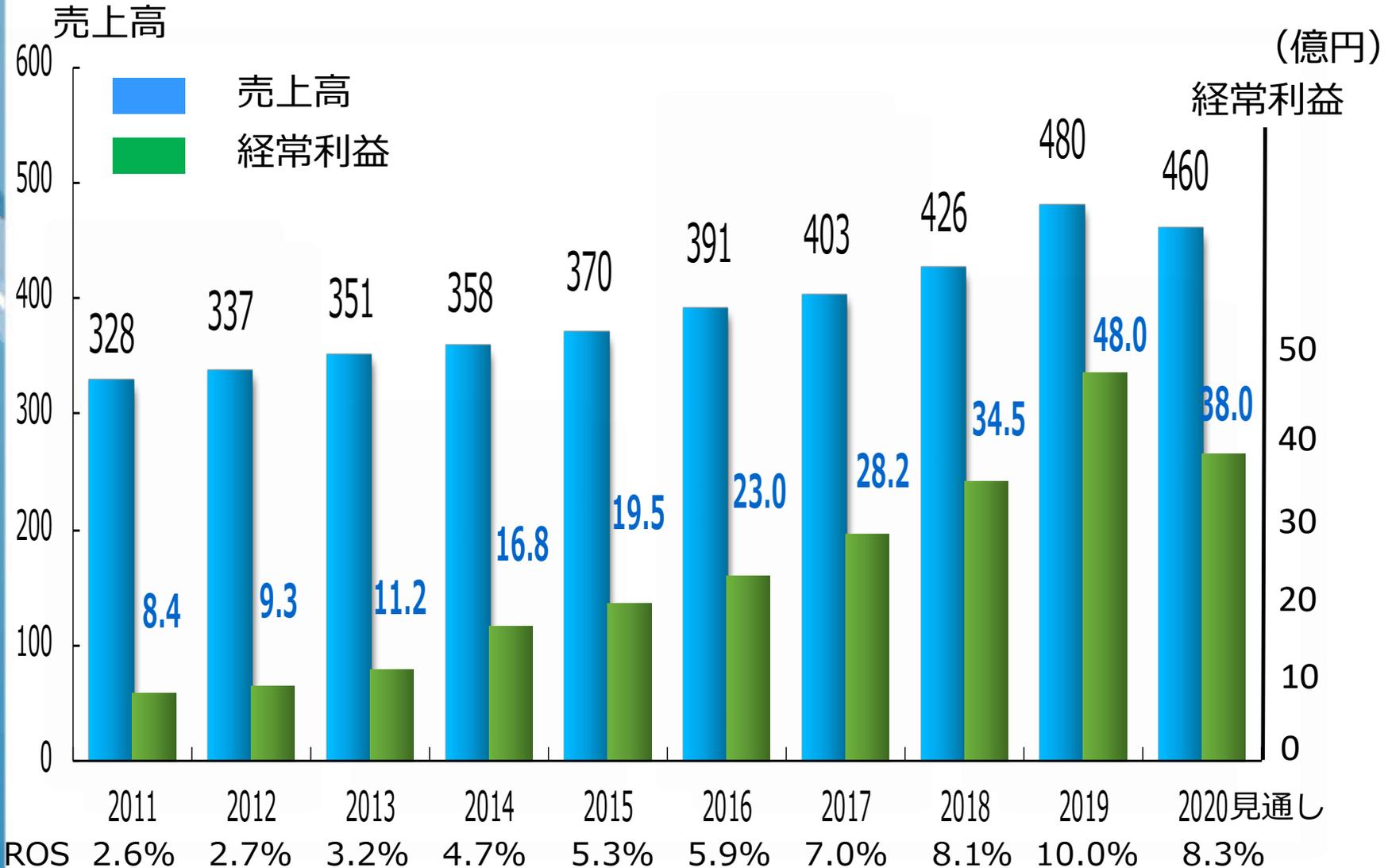


<連結経常利益>



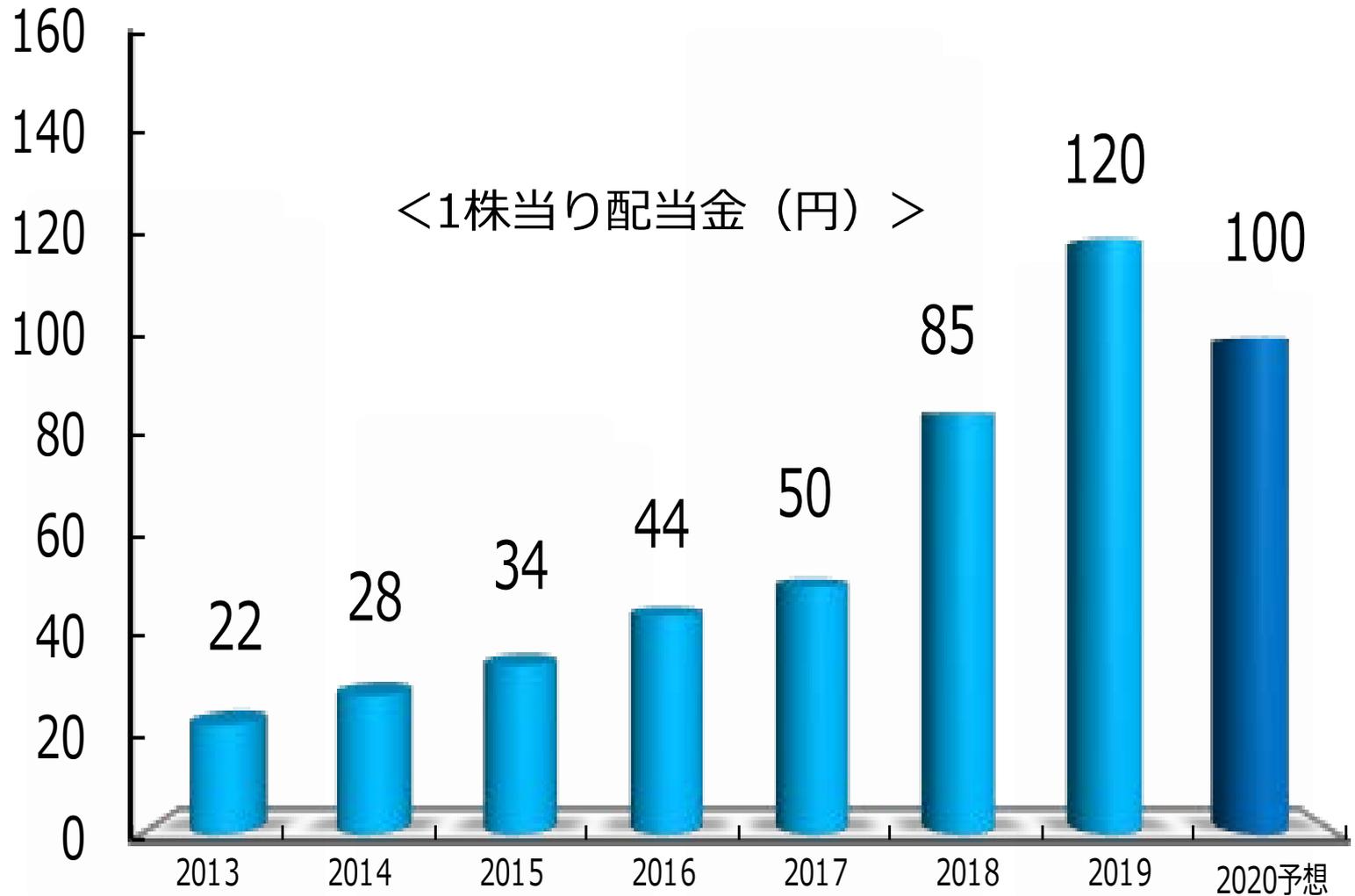
業績推移（連結）

◆ 9期ぶりの減収減益も、一昨年（2018年度）を上回る水準を目指す



株主還元

- ✓ **2020年度配当は、従前からの方針である「配当性向30%目途」に基づき 100円/株を予想**



03

トピックス

- ◆ 2020年上期は既存案件の継続で繋ぐも、新規受注が減少
- ◆ 下期は新規受注挽回をはかるも、案件構成が悪化

	鉄鋼	一般顧客【後述】	基盤
上期	<p>既存案件を継続推進</p> <p>ただし、新規案件はJFEグループ全体で抑制</p>	<p>(アカウント)</p> <p>製造業顧客のIT予算抑制影響で減収</p> <p>(ソリューション)</p> <p>新規受注は困難も、既存案件の開発継続</p>	<p>JFEスチール・グループのリモートワーク環境整備</p> <p>特需により増収</p>
下期	<p>新規案件の本格回復は来期以降</p> <p>上期からの新規案件減少により減収</p>	<p>(アカウント)</p> <p>受注回復基調ながら本格回復は来期以降</p> <p>(ソリューション)</p> <p>営業活動のWeb化を模索中</p>	<p>リモートワーク環境整備</p> <p>特需は一段落</p> <p>リモートワーク環境の質向上に向けた提案推進</p>

一般顧客への営業活動のWeb化

Web説明会・セミナー・カンファレンスの開催

・電子帳票(FiBridge®シリーズ)
コロナ禍前に予定していた実開催と
同数の25回のWeb開催予定

2 Qは10回実施で834名が来訪

・食品(MerQuriusシリーズ)
2020年度 15回のWeb開催予定
2 Qは6回実施で316名が来訪

11月度
オンデマンド配信のカンファレンスを計画
⇒1000名規模の集客を狙う

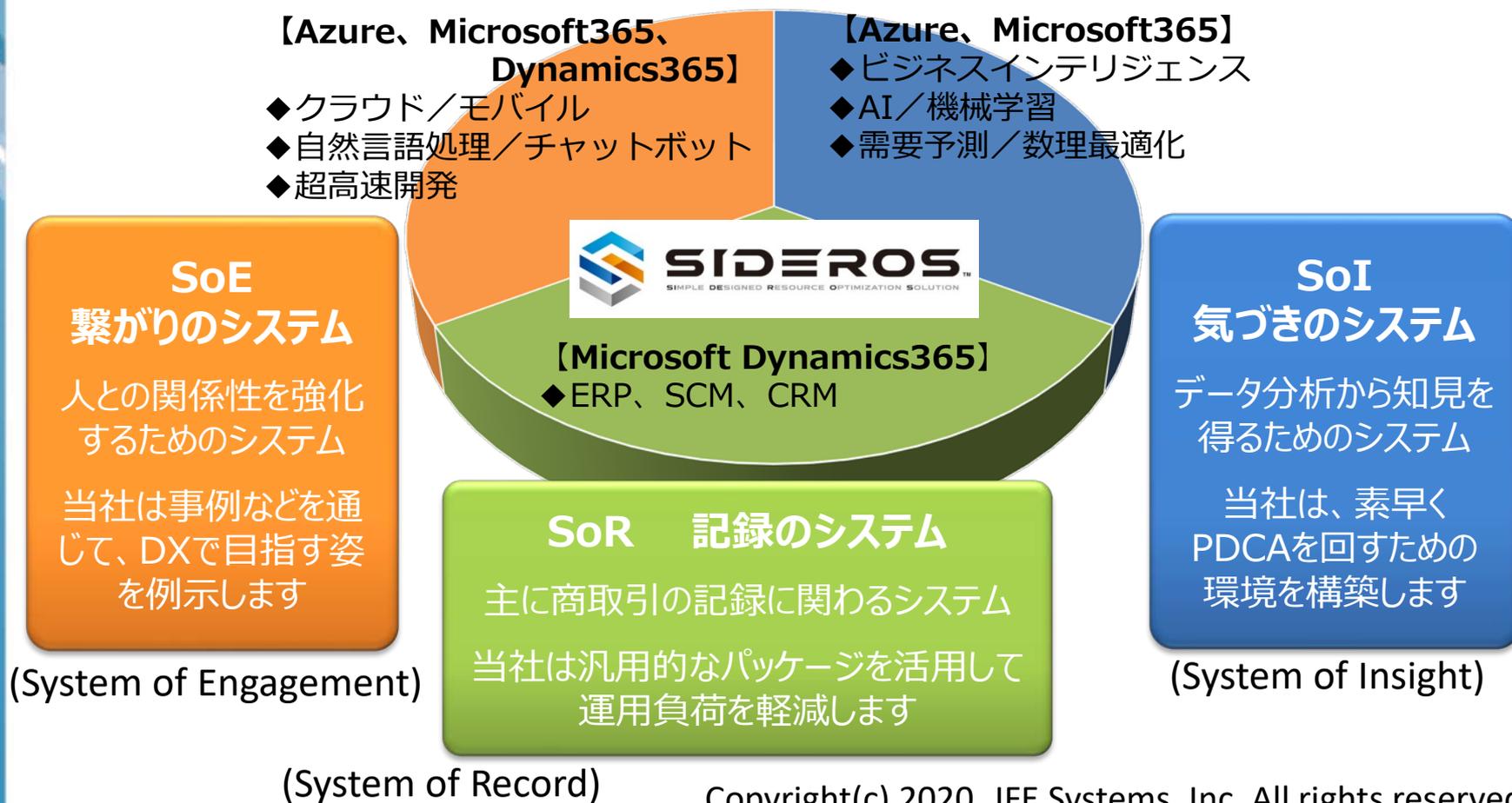


集客力は向上
ヒット率が成否の鍵

トピックス② Microsoft製品を活用した、当社統合ブランド SIDEROS® (シデロス) DXソリューションを販売開始

- ✓ 本製品は、当社の長年にわたるMicrosoft社の製品・サービスの知見を活かしたソリューションで、お客様のDX推進に寄与してまいります。

<SIDEROS DXソリューション (イメージ) >



JFEホールディングスが 6年連続で「DX銘柄」（旧攻めのIT経営銘柄）に選定

- ◆経産省と東証が、DXに積極的な35企業を選定。（6年連続は5社）
- ◆当社は引き続きJFEグループのDX化に貢献・寄与



DX銘柄2020
Digital Transformation

【受賞内容 鉄鋼事業】

ビッグデータ・AI活用による設備異常予兆監視

多様な計器等から構成される数百以上の設備の監視対象項目について、それらの関係性を効率・網羅的に解析するなどし、製造現場で容易に閲覧できるようにしたことで、異常発生未然抑止・設備稼働率向上を実現。



2019
攻めのIT経営銘柄
Competitive IT Strategy Company

【2019年度】

当社は「制御故障復旧支援システム
(J-mAister®)」の開発を担いました。



2018
攻めのIT経営銘柄
Competitive IT Strategy Company

【2018年度】

当社は高度サプライチェーン連携における
「統合現品データベース」の開発を担いました。



2017
攻めのIT経営銘柄
Competitive IT Strategy Company



2016
攻めのIT経営銘柄
Competitive IT Strategy Company



攻めのIT経営銘柄
Competitive IT Strategy Company

◆ 当社は厚生労働大臣より、プラチナくるみん認定を受けました。(7/14付)

→「プラチナくるみん」認定は、「くるみん」認定を既に受け、更に高い水準の取り組みを行っている企業が受けることができる特例認定制度で、現時点、全国377社のみが認定されているものです。



【当社の主な取り組み（2017年8月～）】

- ◆ 働きやすい職場環境
 - ・年休の年間取得計画を策定し、休暇が取りやすい環境構築
 - ・育休取得者 = 男性13%以上、女性100%の達成
- ◆ 女性活躍推進
 - ・育児中の部下を持つ管理職（イクボス）向け研修の実施
 - ・育休から復帰した社員とそのパートナー社員向け研修の実施
 - ・女性の継続就業と活躍のためのメンタリングを実施



イクボス研修の様子

- ◆ 当社は、今後とも、社員一人ひとりが持てる力を最大限に発揮し活躍できる環境の実現に向け、継続的な取り組みを進めてまいります。

JFE システムズ 株式会社

(ご注意)

本資料の将来の業績等に関する見通しは、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績は、さまざまな要因により、見通しとは異なる結果となりうることをご承知おき願います。